

文学部、情報学部 (人間・社会情報学科)

問題 I

問 1

小さい区画の水田が一般的である。

問 2

田地 1 段あたりが租の賦課の単位であった。

問 3

国司による指示のもとで郡司が租を管理し、郡家に列立する正倉で租が保管された。

問 4

9 世紀においても租の蓄積は維持できていた。墾田永年私財法によって開墾田の永久私有が認められ、その結果、墾田の開発がすすんだ。墾田は輸租田であったため、租を確保することが可能であった。

問 5

戸籍に登録された公民が公出挙割り当ての単位であった。

問 6

(公出挙割り当ての基準)

公出挙は人を基準に賦課されていたが、9 世紀末には耕田の面積が賦課の基準となった。

(新たな課税単位) 名

(新たな税目) 官物・臨時雑役

文学部、情報学部 (人間・社会情報学科)

問題 II

問 1

(1) 甲：光長 乙：長房

(2)

長房は国司であり、知行国主である光長の子弟か近親と考えられる。

(3)

彼らは、院や朝廷から一国内の知行権や収益権を認められていたから。

問 2

(1) 名称：建武式目 該当：法 B

問題点：幕府の設置場所を従来通りの鎌倉にするべきか、他所に遷移するべきかが問題になっている。

(2) 名称：分国法 該当：法 C

問題点：旧来の守護使不入地を問題としており、今では領国内に大名の介入できない地はないとしている。

問 3

(1)

自ら信仰心を持つ者には、キリスト教への入信を許可する。その一方で、領主が強制的に領内の民衆をキリスト教徒にすることを禁止している。

(2)

神国を象徴する場でもある伊勢神宮近辺でキリスト教徒が増えるのは困る、との陳情がきたと想定され、秀吉は柔軟に、その場限りでこの命令をだした。

文学部、情報学部 (人間・社会情報学科)

問題Ⅲ

問 1

- | | |
|----------|---------|
| あ. 勝海舟 | い. 松平定信 |
| う. ラクスマン | え. 徳川吉宗 |

問 2

勝海舟の立場や考え方を、彼に関連する多様な史料や文献で調べる。

問 3

列強の接近が顕著となるなか、松平定信が、雨森芳洲の著した平和的な外交姿勢を、幕府の外交担当者に学ばせたいと考えたため。

(問 4 大学の訂正により削除)

問 5

長崎奉行在職中に、清国商人からの書籍入手や聞き取りを行った。

問 6

アメリカとの間で調印した、日米修好通商条約の批准書を交換すること。

文学部、情報学部 (人間・社会情報学科)

問題 IV

A

問 1

ア 日韓協約 イ 樺太 ウ 国際連盟 エ 後藤新平 オ 関東軍

問 2

アメリカは門戸開放を主張し、日本は南満州権益を独占したため、日米関係は急速に悪化した。これに対し、日本は数次にわたる日露協約を結び、両国間で満州における勢力圏を確認するなど日露関係は急速に接近した。

問 3

日本は満州国の建国を主導し、国防や治安維持、交通機関の管理などの委託を承認させた。また関東軍司令官の推薦・同意に基づく満州国政府の要職への日本人官吏任用を認めさせるなど、満州国を日本の事実上の傀儡国家とした。

B

問 4

日本海軍の真珠湾攻撃の再現だ

問 5

準戦時賠償をODAの形で発展途上地域の開発協力を目的に、開発援助資金の贈与・借款や技術供与が、資本財提供を中心になされた。

問 6

イ

プラザ合意後の円高不況を経て、金融緩和による余剰資金が土地と株に集中し、地価と株価が上昇して、実体のない経済の膨張はバブル経済とよばれた。